

# 徳泉寺報

No.0027

発行  
令和2年1月  
発行元 徳泉寺  
仙台市宮城野区  
榴岡3-10-3  
(022)297-4248

## 修正会(しゅしようにえ)勤修



令和二年が始まりました。旧年中は大変お世話になりました。ありがとうございました。本年もよろしくお願いたします。

元日には多くの方にご参詣いただき、修正会を勤修いたしました。一月一日午前十時半より、徳泉寺本堂にて「正信偈 同朋奉讃式」を一同で勤行し、住職と前任職より元日の法話がありました。その後、同朋会館に場所を移してお正月恒例の茶話会を行いました。年初の挨拶を互いに交わし、甘酒やお屠蘇を飲みながら和やかに睦まじく時を過ごしました。今年は声帯模写を披露してくださいました方もあつてみんなで初笑い。笑顔があふれるお正月になりました。みなさまの習慣の中にお寺があることを大変嬉しくありがたく感じました。



勤行の様子



正信偈 同朋奉讃式にて



睦ましい茶話会

### 住職法話より

前(さき)に生まれんものは後(のち)を導き、  
後(のち)に生まれんものは前(さき)を訪(とぶら)え

京都府の子どもたちが作った新聞に大人の悩みに子どもが答えるコーナーがあります。大人たちの悩みに子どもならではの視点で答えるさまは痛快でもあり、柔軟な発想に、日ごろどんなにか自分の頭が固くなっているのかを気づかされます。

私たちの命には生まれの前後はあつても上下はありません。そうではなくて、同じ道を歩く仲間です。これを親鸞聖人は「同朋」とおっしゃいました。志を同じくする大切な友人、仲間という意味です。私たちは孤独になるのでなく、前に生まれた人を訪れ、後に生まれた人を導きながら共に歩んでいければと思います。

### 前任職法話より

#### 「貯金」

私ね 人からやさしさを貰ったら 心に貯金しておくの  
さびしくなった時は それを引き出して 元気になる

あなたも 今から積んでおきなさい  
年金より いいわよ

柴田トヨ『くじけないで』より



『一〇〇歳の詩人』として有名であった柴田トヨさんの詩です。心の中に常に人からもらった優しさを留めておくことはなんと心強いことでしょう。もちろん、年金も大切ですがね。